

# 松本市：のりくら高原「ゼロカーボンパーク」の具現化

脱炭素先行地域の対象：乗鞍高原(安曇地区の一部)

主なエネルギー需要家：戸建住宅128戸、宿泊施設81軒、小売・飲食店・事業所15軒、スキー場1施設、公共施設17施設

共同提案者：大野川区、信州大学

## 取組の全体像

乗鞍高原地区（ゼロカーボンパーク）の宿泊施設・飲食店等を含めた全民生需要家を、各施設の屋根等を活用した**太陽光導入**のほか、**地域主導型・地域裨益型の小水力発電施設の導入**により脱炭素化を図る。また、宿泊施設等へEV、EVバス、木質バイオマスストーブ等を導入するとともに、観光客等が利用するE-bikeやグリーンスローモビリティを導入し、環境配慮型二次交通を構築する。あわせて木材加工や供給を行う地域ビジネスの事業化を図る。

### 1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 各施設の屋根等に太陽光発電設備や蓄電池を導入(住宅40戸：約218kW、宿泊施設・店舗30軒：約299kW、公共施設6施設：390kW)するとともに、すべての住宅、公共施設等の需要家において相対契約により**地域内太陽光発電設備及び小水力発電由来の再エネ電力を調達**
- ② 地域主導型・地域裨益型の**小水力発電施設(674kW)を小大野川に設置**

### 2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① E-bikeやグリーンスローモビリティなど環境配慮型二次交通の構築や、地域住民や宿泊施設のEVへの切り替え(46台)促進などを積極的に展開
- ② 熱源利用を中心に、地域資源を活用した木質バイオマス(薪)ストーブ(住宅40戸、民間施設30軒)の導入や断熱改修、高効率空調等を導入
- ③ 山岳景観の阻害樹木の伐採と、木質バイオマス熱利用(薪ストーブ燃料)の木材加工・供給を取扱う「木の駅」プロジェクトを、**のりくら高原ミライズ構想協議会のサポートの下、地域ビジネスとして事業化**
- ④ 地元**信州大学**と連携し、ゼロカーボン集落点検と連動したインナーブランディングを推進することで、地域コミュニティ全体の価値転換と再エネ意識の高揚を図る



### 3. 取組により期待される主な効果

- ① 地域内に設置する小水力発電施設は、収益の一部が地域の収入源として半永続的に入る仕組みを構築し、**地域裨益型の再エネ施設**として活用。収入は、松本市街地の高校に通学する生徒の最寄り駅への送迎等、地域の課題解決への活用を想定するなど、**将来世代に有用な地域資産として継承**
- ② ゼロカーボンを実現する移動手段等の提供等により、世界水準のサステナブルツーリズムモデルを構築し、世界に冠たるゼロカーボンパークを形成。富裕層など、長期滞在が見込まれる来訪者層を獲得し、**観光業の底上げを推進**

### 4. 主な取組のスケジュール

